

指宿市DX推進ビジョン

令和8年度目標

目次

	ページ
1 令和8年度以降のDXの進め方	1
2 令和8年度の取り組み	2
(1) 市民生活の質の向上に関する事項	
ア 行政手続きのオンライン化のさらなる推進	
(2) 行政の業務変革に関する事項	3
ア 経営改善計画に基づいた人員削減に対応した事務の実施	
イ 業務を見直すことによる経費の削減	4
3 令和9年度以降の構想	5
(1) 業務変革後の住民サービス向上に関するアイデアの創出	
(2) さらなる業務変革「ノーコードツールの活用」の実施	

1 令和8年度以降のDXの進め方

(1) 目的及び結果の明確化

令和8年度以降のDXの進め方は、以下の2つのことに重点をおいて、取り組みを進めます。

- ①住民のニーズがあり、効果が実感できるサービスの向上
- ②将来的に事業継続が確定している事業に対し、業務のやり方を見直して必要人員を削減する

(2) 利用者目線の目標設定

目標設定についても利用者目線でどのような状況になることが理想的かを考えて設定することといたします。

【具体的な目標のイメージ】

従来 オンライン手続きの登録件数



変更後 オンライン手続きの登録件数・オンライン申請件数・申請割合

【ポイント】

職員が申請を作ることだけでなく、実際に住民から申請が行われたかまでを重要視する。

(3) DXを進める上での順序

①事前把握

利用者（職員含む）ニーズ、対象者の規模、業務遂行に係る必要人員、業務フロー、費用、課題となっていること など

②目標設定

改革後の具体的なゴール設定（目的地のイメージ共有）

例）

- ・住民が便利になったと実感でき、満足感を得られる状況を結果で示す
- ・業務の作業量を削減し、その成果を時間換算ではなく、実際に職員数を減少した実績で示す

③目標達成するための手段

業務フローの見直しにより、人が必要な部分とデジタル（AI含む）活用で代用できる部分を切り分ける

(1)人の作業が必要となった場合→スムーズな運用の検討

(2)デジタル活用が可能となった場合→機器やシステムの活用

④スケジュール作成及び実行

目標達成までのスケジュールを作成し、実行する

⑤結果への反映

実行中、状況を整理し、軌道修正をしながら目標達成まで継続して実施する

ア 行政手続きのオンライン化のさらなる推進

① 内容

行政手続きのオンライン化を推進することで、これまで市役所に行く時間が取れない方や行くのが困難な方、行政手続きをオンラインで済ませたい方等が、自宅や職場からでも行政手続きが出来るようになります。デジタル庁のオンライン申請システムである「ぴったりサービス」の登録手続き数、申請数、申請率を増加させることで「わざわざ行かなくていい市役所」を目指します。

② 令和 8 年度の主なスケジュール

- 6 月…ぴったりサービスを活用した行政手続きオンライン化支援業務契約 ※プロポーザルによる選定
- 7 月，11 月（予定）…ぴったりサービス職員向け勉強会の実施
- 7 月～3 月…ぴったりサービスに関する登録及び運用に関するサポートの実施

③ 令和 8 年度の目標

内容	現状(令和 7 年度末)	目標(令和 8 年度末)	増加率
指宿市独自で作成したぴったりサービス登録手続き数	2 9 手続き	6 0 手続き	+107%
上記の登録手続きの申請件数	1 7 7 件	4 0 0 件	+126%
上記の登録手続きの申請率	未把握	3 5 %	—



ア 経営改善計画に基づいた人員削減に対応した事務の実施

① 内容

令和 5 年 9 月に策定した指宿市経営改善計画の中に「職員数の適正な管理に努めるとともに、会計年度任用職員等についても効率的な配置を行いながら総人件費の抑制を図ります。」と明記されています。そういった職員数が減少する状況においても、持続可能で充実した住民サービスを提供するために業務の抜本的な見直しを行い、人員・コストの最適化を実現していきます。

② 令和 8 年度の主なスケジュール

7 月…業務の見直しに関する職員説明 【主管課：デジタル戦略課・総務課】

7 月～ 3 月…業務の見直しの実施 【全庁】

12 月～ 2 月…令和 9 年度人員配置等の検討 【主管課：人事秘書課】

③ 定員適正化計画における職員数の推移予定

R5実績	R6実績	R7実績	R8計画	R9計画	R10計画	R11計画	R12計画
455人	451人	445人	449人	441人	440人	434人	433人

※ 当該年度職員数は、各年度 4 月 1 日現在の普通会計と公営企業会計を合わせた全職員数



イ 業務を見直すことによる経費の削減

① 内容

取組内容 2 -(2)-アを達成しつつ、住民サービスを維持・向上させるためには現在の業務を根本的に見直すことが必要不可欠です。現状の業務のやり方を 1 つでも多く見直すことで、職員の負担軽減を図っていきます。

② 令和 8 年度の主なスケジュール

- 5 月…業務見直しプロジェクトチーム（仮称）の設置 【主管課：デジタル戦略課】
- 7 月～ 3 月…業務見直しに関する現状把握、改善策の検討 【主管課：総務課】
- 7 月～ 3 月…デジタル機器導入前後の業務フローの見直し 【主管課：デジタル戦略課】

③ 令和 8 年度の目標

内容	現状	目標
全職員に関連する共通的な業務を見直す数	—	1 業務
特定の所属における個別の業務を見直す数	—	2 業務
業務を見直したことによる費用の削減（人件費を除く） ※特定の事務に係る令和 8 年度と令和 9 年度の当初予算の比較	—	300万円削減
デジタルツールの活用に伴う「人」による作業の削減	—	3 人削減



アナログ・従来のやり方
による非効率な業務

【現状】



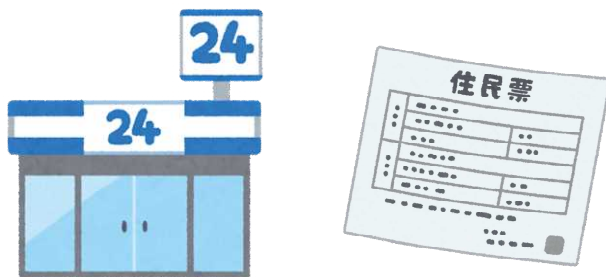
デジタル活用を含めた
効率的な業務

【理想】

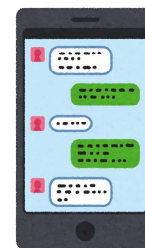
(1) 業務変革後の新たな住民サービス向上の事業の実施

令和8年度に実施した業務変革で、職員の業務負担の軽減と財源の確保に繋がった後、令和9年度は住民サービスが向上する事業を実施するための取り組みを予定しています。DXの本質は、デジタル活用ではなく、デジタル活用によるサービスの変革であることから、令和9年度は、新たな取り組みを実施いたします。

【事業の主な候補】



コンビニ証明書交付の利用促進



LINE公式アカウントの
新機能の追加

(2) さらなる業務変革「ノーコードツールの活用※」の実施

指宿市役所では、令和8年度に新たなノーコードツールを導入いたします。業務の見直しに取りかかる際に、システムを活用して事務を改善する必要があると判断した際に、ノーコードツールを活用することでスピード感をもって、費用を抑えながら改善を図っていくことが期待できます。

令和9年度は、業務の変革にノーコードツールも利用し、職員の業務改善を目指します。

※ノーコードツールとは…プログラミング言語を書かずに、ドラッグ&ドロップなどの視覚的な操作でWebサイトやアプリ、業務システムを開発できるツールです。

